

月刊 あなたにこの本を！ 平成 25 年 12 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの()内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。



日本一の給食

—「すべては子どものために」おいしさと安心を追求する“給食の母”の話—

佐々木十美 著 NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」制作班 協力
学研パブリッシング 学研マーケティング（発売） 1470 円 (0012759833)

ジャンル：子どもの成長のために

著者は北海道置戸町立学校給食センターの栄養士を 40 年間務め、町の給食を日本一と呼ばれるまでに変えた。食べ物の素材の味を伝えたいと、厳選した調味料を使い、地元の旬の食材にこだわって毎日違うメニューを提供した。安全な給食を目指して、カレールー、トマトピューレを手作りするその仕事に妥協はない。巻末のカレーレシピを見ると、その手間の多さに驚かされる。おいしくて安全な給食を作るために、たゆまぬ努力をした著者の熱意が伝わってくる。[374.9]



パンダ飼育係



阿部展子 著
角川書店 1260 円 (0012762620)

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

上野動物園でパンダ飼育係を勤める著者が、一番好きなことを仕事にしようと決意してから、憧れの職業につくまでの日々を語る。日本の大学で中国語を学んだ後、パンダを研究するため四川農業大学に入学したが、なじみのない生物学や化学の授業と方言に悩まされた。しかし、日本で飼育係になった時、日本語では無反応だったパンダが四川の方言で呼ぶと反応したという逸話も描かれる。着実に、大胆に、自分の夢を実現させる姿がすがすがしく印象的だ。[489]



子どものうそ、大人の皮肉

—ことばのオモテとウラがわかるには—

松井智子 著
岩波書店 1680 円 (0012759812)

ジャンル：子どもの成長のために

子どもは成長するに従い、会話のえん曲な表現や言葉の裏に込められた意味を理解してゆく。乱雑な部屋で「片づけが上手ね」と言うと大人は皮肉だとわかるが、9歳頃までの子どもは、うそだと受け止めるという。幼い頃からの家族との会話経験が、子どもの会話力を伸ばすと著者は述べる。また、言葉から相手の感情を推測できず「空気が読めない」とされる語用障がいに触れ、言葉で気持ちを伝える仕組みを解き明かす。事例を挙げての会話の考察が興味深い。[810.1]

支倉常長遣欧使節もうひとつの遺産 ーその旅路と日本姓スペイン人たちー

太田尚樹 著
山川出版社 1680 円 (0012786947)

ジャンル：歴史・文化に親しむ

スペイン南部の町に、スペイン語で日本を意味する「ハポン」を姓に持つ人々がいる。現地の郷土史家の洗礼台帳調査により、支倉常長遣欧使節が当地に滞在する以前にはハポン姓がないことから、彼らは現地に残った使節の子孫だと考えられる。著者は、スペインでの乗船記録やメキシコへの到着記録、日本への帰国者名簿等をもとに、残留者の特定を試みる。使節の足跡を訪ね、ハポン姓の人々と交流する著者の旅の記録からは、歴史の謎解きの楽しさが味わえる。〔210.52〕

すてきな地球の果て=The end of the wonderful world

田邊優貴子 著
ポプラ社 1680 円 (0012783867)

ジャンル：自然環境を考える

著者は、子どもの頃からの極地への強い憧れから、北極と南極を行き来する植物生理生態学者になった。極限の地の自然と生き物について、五感全てを使って感じたことを、みずみずしい文章と写真でつづる。南極の湖底に生息する藻類が作り出す不思議な風景や、アザラシの子のミイラの発見など、地の果ての世界での心震わされた体験談が詰まっている。極地に広がる静寂さまでも写し取ったような写真からは、地球の大きな時間の流れと生命の巡りが感じられる。〔402.9〕

コンクリート崩壊 ー危機にどう備えるかー

溝渕利明 著
PHP 研究所 798 円 (0012770498)

ジャンル：知識・教養を深める

橋の落下や道路の陥没など、コンクリート製の建築物が崩壊する事件が世界各地で起きている。著者は、各地の事例を紹介しながら、その基礎知識と劣化の原因を分かりやすく説明する。そして、塩害などによる劣化により、日本もこれから危険な時期に入ると言う。コンクリート構造物の点検方法と劣化防止対策は確立されていて、維持管理をきちんとすれば崩壊を防げると著者は主張する。コンクリートに囲まれる私たちにとって、現状を知るための格好の入門書だ。〔511.7〕

家族写真は「」である。

浅田政志 著
亜紀書房 1680 円 (0012786960)

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

自分と父、母、兄の家族四人で消防士やラーメン店員などに扮(ふん)した写真集で話題となった著者が、家族と写真について語る。「一枚で自分を表現する写真」を考えた時、出た答えが家族写真だった。著者は、様々な家庭の、その家族らしさあふれる写真を撮る企画や、被災地での写真洗浄ボランティアにも携わった。その体験を通して、家族写真が人の心に与える力の大きさを実感したという。日本人にとって家族写真とは何か、家族とは何か、考えさせられる。〔740.2〕

わが盲想



モハメド・オマル・アブディン 著
ポプラ社 1470 円 (0012735389)

ジャンル：生き方・考え方に学ぶ

全盲の著者は、19歳でスーダンから鍼灸(しんきゅう)を学ぶため来日した。言葉を必死で学ぶ奮闘ぶりや日本という異文化への驚きを、同音異義語を覚えるのに役立ったというダジャレを交えてユーモアたっぷりにつづる。現在は、アフリカの紛争問題について大学で研究しながら、祖国への障がい者教育支援活動に取り組む。目が不自由でも楽しめるブラインドサッカーや二人乗り自転車での小旅行など、次々と新しいことに挑戦する前向きな姿に元気づけられる。〔Eモハメ〕